

なかったり、うまく成育しない動物は、使い捨てにされます。

しかし、ここで生まれた子犬たちには、さらに苛酷な運命が待っています。繁殖屋は、同腹の子犬5～6匹のうち、いちばん良い雌雄を将来の交配用に確保します。友人や得意客に売り渡すこともあります。虚弱で、欠陥や障害のある「残りもの」は競売にかけられ、群がるペットショップ経営者の手に渡るのです。こうして、子犬たちはペットショップに移され、だまされやすい客を待つことになります。いたいけな幼犬が生後数週間のうちに経験するストレスがどれほどのものか想像してみてください。あまりにも早く、生まれてわずかひと月ほどで母親から引き離され、ケージに入れられ、(例えば、九州から東京まで)飛行機で運ばれ、満員の競売場でものすごい騒音にさらされます。(遠方まで行く場合、例えば店が大阪にあるとすると)もう一度飛行機に積まれ、今度はガラスケースに入れられて、じろじろ物色する客の視線にさらされます。誰かに買われて新しい家に連れて行かれても、知らない人たちと環境に慣れなくてはならないのです。ストレスから命を縮めるのも無理のないことでし

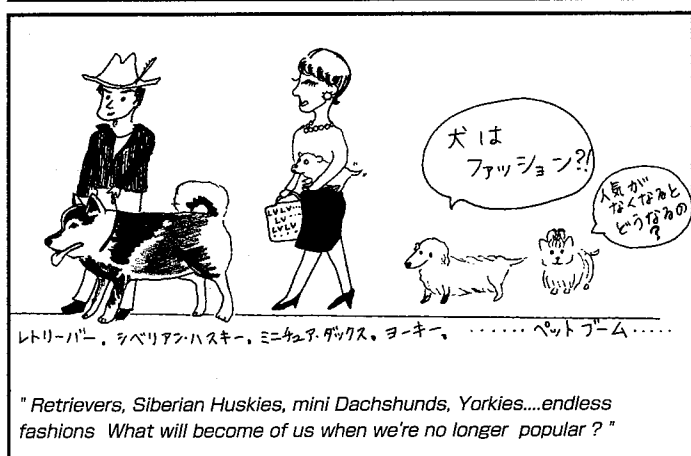
よう。免疫力を持たない子犬は数日のうちに発病します。ぐったりして、食欲がなく、血のまじった下痢便をします。心配した飼い主が病院に連れて行き、点滴や、ありとあらゆる治療が施されます。助かることもあれば、駄目な場合もあります。どちらにせよ、かかる費用はたいへんなもの。死んでしまった場合、飼い主はペットショップに文句を言いに行くでしょう。しかし、動物にはテレビのように保証書がないことに今更ながら気づくのです。ふつう、店側は返金を拒否しますが、客が強く主張すれば、替わりの犬をくれることもあります。最初の犬が何とか生き延びたとしても、身体的に虚弱で、生涯にわたって、精神的にも悪影響が残るものです。

人々がどうして素性の疑わしい子犬を手に入れるために喜んで20万円も払うのか、とても信じられないことです。母親を見ることも、ブリーダーに会うこともできず、子犬がどこで生まれたかさえわからず、予防接種済みの証明書も、遺伝的異常がないという獣医師の保証も健康証明書もありません。誇らしげに手にしている血統書も偽物だったりするので、消費者が賢くならない限り、ブリー

ディング産業が今後も幅をきかせることに変わりないでしょう。

他の多くの国と同様、英国のペットショップは、今では犬猫を扱っていません。買えるのはペット用の食品と日用品だけで、その他は、ウサギやハムスターのような小動物を売る場合もあります。ペットショップの子犬は「パピーミル」や「工場」から来ており、この恐ろしい商売をやめさせるには、この種の店をボイコットする以外にないことを人々はよく知っているのです。優秀な血統種がほしいければ、信用の置けるブリーダーの所に行きます。ペット用の犬がほしい場合は、シェルターを訪れます。特定の犬種だけを扱うシェルターもあります(例えば、ゴールデンレトリバーとか、ダルメシアン……など)。

残念ながら、英国にも悪徳ブリーダーはいます。「パピーミル」を経営し、お粗末な血統の犬にも喜んで大金を払ってくれる客を相手にする輩です。もはや英国内にマーケットがないとすれば、行き着く先はどこか? おわかりでしょう?



falls ill. It is listless, won't eat and has bloody diarrhea. Its anxious new owners take it to a veterinary clinic. Here it is put on a drip and given all kinds of treatment. It may survive or it may not. Either way the costs mount up. If it dies they will go back to the pet shop and complain but they now realize there is no guarantee, as there would be with a television set. The pet shop refuses to return their money but if pressed, will offer another pup in exchange. Even if the first pup pulls through, it is likely to be physically weakened and certainly psychologically affected for the rest of its life.

It is amazing how people will happily fork out 200,000 yen to buy a puppy of dubious background. They never see the mother, they never meet the breeder, in fact they don't even know where the pup was born, no vaccination certificate, no veterinary or health certificate to say that the pup is free of genetic disorders and on top of this, the pedigree paper they proudly hold is probably a forgery. Unless consumers get wiser, the breeding industry will continue to flourish in Japan.

In Britain as in many other countries, pet shops no longer sell cats and dogs. They sell pet food and pet products and sometimes small animals such as rabbits or hamsters. People know only too well that pet shop puppies come from puppy mills and factories and the only way to stop this awful trade is to boycott pet shops. If they want a breed puppy with a pedigree they will go to a reputable breeder. If they want a dog for a pet they go to a shelter. There are also special breed shelters, for example ones handling only Golden Retrievers or Dalmatians or other breeds.

Unfortunately even in Britain there are unscrupulous breeders operating puppy mills who will sell low grade stock to anyone willing to pay a price. When they no longer have a market in Britain, they sell to guess where?